



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月5日

上場会社名 タキロン株式会社  
 コード番号 4215  
 代表者 (役職名)代表取締役社長(氏名)森下 誠二  
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)武田 豊

上場取引所 東証一部 大証一部  
 URL <http://www.takiron.co.jp/>

TEL (06)6267 - 2778

(百万円未満切捨)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	49,630	5.1	984	55.3	903	57.0	370	68.4
19年3月期第3四半期	52,316	4.8	2,202	40.8	2,101	44.7	1,170	60.2
19年3月期	69,118		2,892		2,818		1,518	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	5.00	4.99
19年3月期第3四半期	15.81	15.74
19年3月期	20.51	20.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	76,792	40,847	51.7	551.42
19年3月期第3四半期	77,439	41,312	51.6	557.81
19年3月期	77,191	41,734	52.3	545.52

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	5,189	2,188	571	8,255
19年3月期第3四半期	1,231	2,242	570	5,014
19年3月期	2,919	3,130	608	5,780

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年3月期	円 銭 3.50	円 銭 4.50	円 銭 8.00
20年3月期(予想)	4.00	4.00	8.00

## 3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

( %表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	66,000	4.5	800	72.3	700	75.2	200	86.8	2.70

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無: 有  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無: 無

[ (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 ]

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年3月期の連結業績予想および個別業績予想を修正しております。  
詳細は、本日、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)は、改正建築基準法の施行に伴う新設住宅着工戸数の激減や半導体製造装置関連分野の需要が調整時期に入ったことに加え、原油価格高騰に伴う原材料価格の上昇による採算悪化により大変厳しい状況にありました。

その結果、連結売上高496億3千万円(対前年同期比5.1%減)、連結営業利益9億8千4百万円(対前年同期比55.3%減)、連結経常利益9億3百万円(対前年同期比57.0%減)、連結四半期純利益は3億7千万円(対前年同期比68.4%減)となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

### 住環境事業

住宅資材部門は、昨年6月の改正建築基準法施行による住宅着工件数の落ち込みの影響を受け、需要が低迷し前年同期実績を下回りました。

採光部門も、改正建築基準法施行による建築関連事業の低迷により前年同期実績を下回りました。

環境資材部門は、公共投資削減の影響を受け、土木資材が低調に推移した結果、前年同期実績を下回りました。また、合成樹脂被覆鉄線および合成樹脂被覆鋼管は、原材料アップの影響により採算性が悪化しました。

床材部門は、主力のマンション改修市場については、建築確認遅れの影響も見られず、順調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

その結果、当セグメントの業績は、売上高259億4千万円(対前年同期比3.5%減)、営業利益は、10億4千5百万円(対前年同期比22.1%減)となりました。

### 高機能材事業

プレート部門は、前四半期の状況と大きく変わらず、工業用プレートの販売が低調に推移しました。特に半導体製造装置関連の動きの鈍さを受け、FMプレートを中心とした機能品が落ち込みました。

ポリカプレート部門は、機械部品用に切削材料が伸びましたが、半導体製造装置向けのPC制電プレート及びカバー用途向けの一般PCプレートは需要が減退した結果、前年同期を下回りました。

電材部門は、電子デバイスのコントローラ連動販売及びシステム完成品(LEDユニット及びコントローラを組み込み)販売が好調に推移しましたが、電子デバイス販売(LEDパネル・ユニット)が低調に推移したため、前年同期並みとなりました。

その結果、当セグメントの業績は、売上高218億7千5百万円(対前年同期比7.7%減)、営業利益3億2千7百万円(対前年同期比72.2%減)となりました。

### メディカル事業

骨伝導性と分解吸収性をあわせ持つスーパーフィクソープ30の販売は、胸部外科分野の伸張により好調に推移しました。現在、整形外科トラウマ分野での拡販を図るため、製品ラインアップを拡充中です。

一方、顎顔面分野への販売はほぼ前年並みの実績となりましたが、スーパーフィクソープMX30・40の販売開始に伴い、徐々に拡大基調に入りつつあります。

その結果、当セグメントの業績は、売上高11億2千万円(対前年同期比14.6%増)となりましたが、一昨年9月のメディカル研究所の開所による研究開発費の増加およびスーパーフィクソープMX30・40の販売開始に伴う販売費の増加を吸収するまでには至らず、営業損失2億2千6百万円(前年同期比5百万円の損失の増加)となりました。

### その他

上下水道施設の設計・製作・工事物品商品は公共事業の受注競争の激化に伴う低価格受注と資材価格のアップに伴う原価の高騰により、商品採算性の悪化が継続しており、売上高は前年同期を下回りました。

下水道行政の重点事業の一つであります老朽化した下水道管の補修材料販売の管更生部門は、第1、第2四半期の売上高は対前年同期比ほぼ横這いに止まりましたが、発注が集中する第3四半期の出荷量は大幅な伸びを示しました。

その結果、当セグメントの業績は、売上高6億9千3百万円(対前年同期比9.5%減)、営業損失1億6千1百万円(前年同期比6千5百万円の損失の増加)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前期末に比べて流動資産が7億5千9百万円増加しましたが、有形固定資産の減少等により固定資産が11億5千8百万円減少したため3億9千8百万円減少しました。一方、負債は、主に支払手形・買掛金の増加により4億8千8百万円増加しました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末から24億7千5百万円増加し、82億5千5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、51億8千9百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10億6千4百万円、減価償却費24億5千5百万円、売上債権の減少額22億2千5百万円、仕入債務の増加額9億3千9百万円、法人税等の支払額13億1千3百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により21億8千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により5億7千1百万円の支出となりました。

### 3.業績予想に関する定性的情報

業績予想については、本日同時に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 4.その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準、税金費用の計算等に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

期 別 科 目	前 期 (平成19年3月31日現在)		当第3四半期 (平成19年12月31日現在)		増 減	前第3四半期 (平成18年12月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	44,048	57.1	44,808	58.4	759	44,388	57.3
現金・預金	5,781		8,258		2,476	5,015	
受取手形・売掛金	26,635		24,265		2,369	27,095	
有価証券	19		19		-	20	
たな卸資産	10,196		10,594		397	10,028	
繰延税金資産	736		634		102	617	
その他	986		1,336		350	1,911	
貸倒引当金	307		299		7	301	
固定資産	33,142	42.9	31,984	41.6	1,158	33,051	42.7
有形固定資産	22,737	29.4	21,949	28.6	788	22,798	29.4
無形固定資産	520	0.7	497	0.6	22	443	0.6
投資等	9,884	12.8	9,537	12.4	346	9,808	12.7
資産合計	77,191	100.0	76,792	100.0	398	77,439	100.0
(負債の部)							
流動負債	21,881	28.3	24,251	31.6	2,369	22,300	28.8
支払手形・買掛金	13,973		14,913		939	14,675	
短期借入金	3,283		5,014		1,731	2,990	
1年内償還予定の社債	50		50		-	50	
その他	4,572		4,272		300	4,584	
固定負債	13,575	17.6	11,694	15.2	1,880	13,826	17.9
社債	75		50		25	100	
長期借入金	1,500		-		1,500	1,800	
退職給付引当金	11,034		10,633		401	10,956	
その他	965		1,011		45	969	
負債合計	35,456	45.9	35,945	46.8	488	36,126	46.7
(純資産の部)							
株主資本	39,191	50.8	38,937	50.7	256	38,841	50.1
資本金	15,189		15,189		-	15,189	19.6
資本剰余金	14,666		14,667		0	14,665	18.9
利益剰余金	10,721		10,462		259	10,368	13.4
自己株式	1,385		1,381		3	1,383	1.8
評価・換算差額等	1,207	1.6	755	1.0	451	1,146	1.5
その他有価証券評価差額金	1,222		775		446	1,164	1.5
為替換算調整勘定	15		19		4	17	0.0
少数株主持分	1,335	1.7	1,154	1.5	181	1,325	1.7
純資産合計	41,734	54.1	40,847	53.2	887	41,312	53.3
負債および純資産合計	77,191	100.0	76,792	100.0	398	77,439	100.0

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円, %)

期 別 科 目	前第3四半期 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日		当第3四半期 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日		増 減	前 期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
売 上 高	52,316	100.0	49,630	100.0	2,685	69,118	100.0
売 上 原 価	36,334	69.4	35,178	70.9	1,155	48,034	69.5
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>15,981</b>	<b>30.6</b>	<b>14,451</b>	<b>29.1</b>	<b>1,529</b>	<b>21,084</b>	<b>30.5</b>
販売費・一般管理費	13,779	26.4	13,467	27.1	312	18,191	26.3
<b>営 業 利 益</b>	<b>2,202</b>	<b>4.2</b>	<b>984</b>	<b>2.0</b>	<b>1,217</b>	<b>2,892</b>	<b>4.2</b>
営業外収益	377		308		69	435	
営業外費用	478		389		88	509	
<b>経 常 利 益</b>	<b>2,101</b>	<b>4.0</b>	<b>903</b>	<b>1.8</b>	<b>1,197</b>	<b>2,818</b>	<b>4.1</b>
特別利益	21		243		222	20	
特別損失	71		82		11	95	
<b>税金等調整前四半期 (当期)純利益</b>	<b>2,051</b>	<b>3.9</b>	<b>1,064</b>	<b>2.1</b>	<b>986</b>	<b>2,743</b>	<b>4.0</b>
税金費用	795		653		143	1,116	
少数株主利益(減算)	85		40		45	108	
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>1,170</b>	<b>2.2</b>	<b>370</b>	<b>0.8</b>	<b>800</b>	<b>1,518</b>	<b>2.2</b>

## (3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		前 期
	前第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純損益	2,051	1,064	2,743
減価償却費	2,034	2,455	2,758
退職給付引当金の増減額	323	401	245
売上債権の増減額	1,978	2,225	1,532
たな卸資産の増減額	1,048	385	1,094
仕入債務の増減額	65	939	767
法人税等の支払額(還付額)	503	1,313	493
その他	57	604	563
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,231</b>	<b>5,189</b>	<b>2,919</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	2,063	1,843	2,605
有形固定資産の売却による収入	56	2	56
投資有価証券の取得による支出	273	358	521
投資有価証券の売却による収入	75	430	75
その他	38	418	134
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,242</b>	<b>2,188</b>	<b>3,130</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	46	234	38
長期借入による収入	-	-	-
長期借入金の返済による支出	-	-	-
社債の償還による支出	25	25	50
少数株主からの子会社株式の買入れによる支出	-	148	-
自己株式の取得による支出	6	18	8
配当金の支払額	501	608	519
その他	8	5	8
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>570</b>	<b>571</b>	<b>608</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	4	6
現金及び現金同等物の増減額	1,578	2,425	812
現金及び現金同等物の期首残高	6,592	5,780	6,592
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		50	
現金及び現金同等物の期末残高	5,014	8,255	5,780

(4)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,879	23,691	978	767	52,316	-	52,316
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	876	876	(876)	-
計	26,879	23,691	978	1,643	53,192	(876)	52,316
営業費用	25,537	22,514	1,199	1,739	50,990	876	50,114
営業利益又は営業損失( )	1,342	1,177	220	96	2,202	(0)	2,202

当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	25,940	21,875	1,120	693	49,630	-	49,630
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	792	792	(792)	-
計	25,940	21,875	1,120	1,486	50,423	(792)	49,630
営業費用	24,895	21,548	1,346	1,647	49,438	792	48,645
営業利益又は営業損失( )	1,045	327	226	161	984	(0)	984

前期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,973	31,049	1,309	1,786	69,118	-	69,118
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	1,152	1,152	(1,152)	-
計	34,973	31,049	1,309	2,938	70,270	(1,152)	69,118
営業費用	33,373	29,532	1,623	2,849	67,378	1,152	66,226
営業利益又は営業損失( )	1,599	1,517	314	89	2,892	(0)	2,892

(注) 1. 事業区分の方法

製品の使用目的を考慮し、住環境事業、高機能材事業、メディカル事業及びその他に区分しております。

2. 各区分の主要な製品

住環境事業	採光建材、外装建材、管工機材、住器製品、エクステリア製品、内装建材、床材、合成樹脂被覆鉄線、合成樹脂被覆鋼管、プラスチックネット・ネット状パイプ、ポリエチレン製排水材他
高機能材事業	硬質塩ビプレート、ポリカーボネートプレート、PETプレート、PPプレート、アクリルプレート他、PP/PE丸棒、プラスチック看板および屋外広告物等、ポリエチレンタンク、クイックサイン表示器(LED表示パネル)、アセテートシート他
メディカル事業	吸収性骨接合材、導電性粘着材
その他	上・下水用覆蓋、下水管渠リニューアル工法、上水道関連商品、当社グループの製品運送及び保管業務等他